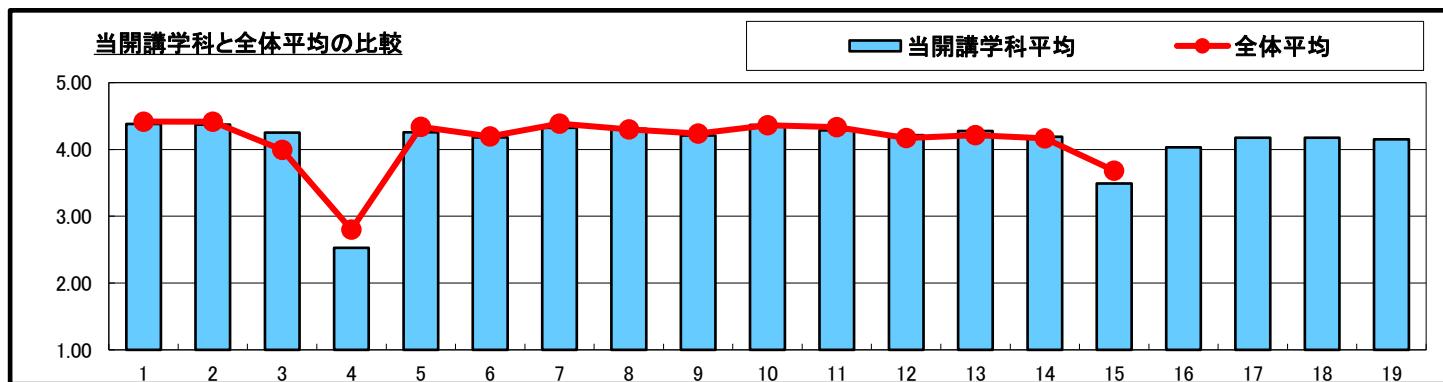


# 2024年度後期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	作業療法学科					履修者数	333		
						回答者数	257		
学年マーク		回答者数／構成比 (%)							
1年		2年		3年		4年		無効回答	
83		170		4		0		0	
32.3		66.1		1.6		0.0		0.0	
No.	設問文	平均	回答者数／構成比 (%)					有効回答	無効回答
とてもそう思う		5	ややそう思う	4	どちらともいえない	3	あまりそう思わない	2	全くそう思わない
▼全学部共通の質問項目									
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静謐性）は良好であった	4.38	125 48.6	106 41.2	25 9.7	1 0.4	0 0.0	257	0
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.37	129 50.2	99 38.5	26 10.1	2 0.8	1 0.4	257	0
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	4.25	111 43.2	109 42.4	30 11.7	5 1.9	2 0.8	257	0
▼学部レベルの質問項目									
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	2.53	2時間以上 23 8.9	1時間以上 34 13.2	30分以上 66 25.7	30分未満 66 25.7	全くしていない 68 26.5	257	0
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.26	115 44.7	102 39.7	33 12.8	5 1.9	2 0.8	257	0
6	この科目の難易度は適切であった	4.18	102 39.7	111 43.2	35 13.6	6 2.3	3 1.2	257	0
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.32	124 48.2	100 38.9	28 10.9	2 0.8	3 1.2	257	0
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.31	121 47.1	99 38.5	34 13.2	1 0.4	2 0.8	257	0
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.21	115 44.7	89 34.6	47 18.3	4 1.6	2 0.8	257	0
▼教員個人レベルの質問項目									
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.37	129 50.2	99 38.5	25 9.7	3 1.2	1 0.4	257	0
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.28	118 45.9	102 39.7	30 11.7	6 2.3	1 0.4	257	0
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.21	111 43.2	98 38.1	41 16.0	6 2.3	1 0.4	257	0
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.28	118 46.1	98 38.3	36 14.1	1 0.4	3 1.2	256	1
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.19	108 42.4	96 37.6	45 17.6	3 1.2	3 1.2	255	2
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.49	十分に読んだ 56 21.9	よく読んだ 82 32.0	どちらともいえない 72 28.1	ほとんど読まなかった 24 9.4	全く読んでいない 22 8.6	256	1
▼学科設問									
16	この科目の到達目標に対する自分の達成度	4.03	77 30.0	114 44.4	64 24.9	1 0.4	1 0.4	257	0
17	（作業療法学科専門科目のみ）この科目を受講して、臨床実習に向けた自分の意欲がどう変化したか	4.18	79 36.4	98 45.2	39 18.0	1 0.5	0 0.0	217	40
18	（作業療法学科専門科目のみ）この科目を受講して国家試験に対する理解がどう変化したか	4.17	79 36.2	104 47.7	30 13.8	4 1.8	1 0.5	218	39
19	（作業療法学科専門科目のみ）この科目を受講して自分の将来像に影響があったか	4.15	77 35.5	102 47.0	34 15.7	2 0.9	2 0.9	217	40



## 2024年度後期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	作業療法学科
講評者	遠藤浩之・村岡健史

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	概ね良好という評価であった。しかしながら「周りの学生の熱意」に関して「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」が7名いたことに関して、学びたいと思う学生の環境を守ることは学科として重要課題として位置づける必要がある。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	設問 5～9 は良好な結果であった。設問 4 「時間外学修」は著しく低い結果となった。このことは、授業の予習復習だけでなく、学修成果の積み重ねもできていない状況であると考える。各科目で時間外に実施する「授業課題」の検討も必要と考える。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	設問 10～14 は概ね良好な結果であった。しかしながら設問 15 「シラバス」に関して「ほとんど読まなかった」と「全く読んでいない」という学生が 2 割程度いることは学科の課題となる。予習復習推奨の観点からも、学科としてシラバスを重要視する声掛けを強化していきたいと考える。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	概ね良好な結果であった。国家試験や具体的な将来像への意識付けは図られていると考える。